

## 今月のトピックス

### 年末年始の旅客輸送等の動向について

#### 平成15年度年末年始の旅客輸送等の動向

##### 1. 鉄道

JR（平成15年12月26日～平成16年1月4日）

JRは、昨年十月の品川駅開業に伴うダイヤ改正で「のぞみ」を増発し、利便性が高まったことにより東海道新幹線が好調に推移したことから、JR東海が5%増となり、全体では同期間内1%増となった。

新幹線は、東海道新幹線が「のぞみ」の増発により6%増となるなど、ほとんどの路線で前年を上回り好調であった。

JRグループ主要区間における特急・急行列車上下計の断面輸送量（単位：千人）

会社名（区間数）	期間	H14.12.27	H15.12.26	前年比（%）
		～H15.1.5	～H16.1.4	
JR北海道（4）		390	377	97
JR東日本（18）		4,228	4,243	100
JR東海（10）		2,767	2,903	105
JR西日本（12）		2,252	2,219	99
JR四国（3）		141	134	95
JR九州（3）		523	489	93
計（50）		10,302	10,364	101

合計値、前年比は四捨五入の関係で合致しない場合がある。

新幹線旅客輸送人員前年比（%）

東海道	山陽	東北	上越
106	102	101	102
長野	山形	秋田	
102	99	101	

大手民鉄（平成15年12月31日～平成16年1月3日）

大手民鉄は、年末年始の天候が穏やかであったため、沿線神社仏閣への初詣や沿線商業施設等への出足が好調であり、全体では対前年同期比6.6%増となった。

大手民鉄 定期外旅客輸送量 (単位:千人)

会 社	期 間	H14.12.31 ～ H15.1.3	H15.12.31 ～ H16.1.3	前年比 (%)
	関 東 9 社		17,106	18,306
関 西 5 社		8,791	9,332	106.2
そ の 他		2,388	2,514	105.3
計		28,285	30,152	106.6

関東9社は、東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、営団、相鉄。関西5社は、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神。

その他は、名鉄、西鉄。

合計値、前年比は端数整理、四捨五入の関係で合致しない場合がある。

2. 国内航空（平成15年12月26日～平成16年1月7日）

国内航空については、昨年に比べ曜日配列が悪くピークが短期間に集中したため、全体的に低調であり、前年同期比10.4%減となった。

また、方面別にみても特に好調な方面はなかった。

スカイマークエアラインズ、スカイネットアジア航空等は新規路線の開設等便数の増加により高い伸び率となっている。

なお、ピークは下りが12月30日、上りが1月3、4日となった。

(単位:千人)

会 社	期 間	H14.12.26 ～ H15.1.7	H15.12.26 ～ H16.1.7	前年比 (%)
	日本航空システム		1,653	1,453
全日本空輸		1,641	1,456	88.7
エアーニッポン		200	145	72.3
日本トランスオーシャン		101	101	99.8
日本エアコミューター		48	53	111.3
スカイマークエアラインズ		68	89	139.9
北海道国際航空		37	44	120.0
スカイネットアジア航空		19	36	192.3
計		3,767	3,376	89.6

合計値、前年比は端数整理、四捨五入の関係で合致しない場合がある。

日本航空システムは、JAL、JAS、JEXの合計値。

(参考) 方面別輸送実績 (JALシステム ANA、JEX)

(単位 :千人、%)

方面別	北海道	東北・北陸	名古屋・関西	中国・四国	九州	沖縄・奄美
旅客数	725	278	285	396	866	350
前年比	86.4	89.0	92.7	91.2	86.2	89.7

3. 国際航空 (平成15年12月26日～平成16年1月7日)

国際航空については、新型肺炎 (SARS) の影響はほぼなくなったと思われるが、日本アジア航空が運航する台湾路線は回復が遅れており、全体では対前年同期比1.6%減となった。

方面別では、オセアニア、中国、欧州が好調であった。なお、グアム線については昨年発生した大型台風の影響の反動により大幅増となっている。

出国のピークは 12月27、28日となっており、また帰国のピークは1月3、4日であった。

(単位 :千人)

会 社	期 間		前年比 (%)
	H14.12.26 ～H15.1.7	H15.12.26 ～H16.1.7	
日本航空システム	530	531	100.1
日本アジア航空	44	33	74.8
全日本空輸	139	140	100.6
エアーニッポン	7	5	76.3
計	720	708	98.4

日本発着ベース

合計値、前年比は端数整理、四捨五入の関係で合致しない場合がある。

日本航空システムは、JAL、JAS、JAZの合計値。

(参考) 日本航空システム (JAL、JAS、JAZ) の日本発方面別輸送実績 (単位 :人、%)

路 線	ホルル	米大陸	欧 州	東南アジア	オセア	グアム・サイパン	韓 国	中 国
旅客数	50,165	27,445	30,354	65,764	16,080	23,936	26,535	23,066
前年比	92.2	98.1	106.0	88.6	111.9	167.4	94.9	109.2

4. 高速道路 (平成15年12月26日～平成16年1月4日)

全国の日本道路公団所管の高速道路の出入交通量は、天候に恵まれたことと、雪や交通事故による交通への影響が減少したことから対前年同期比5.4%増となった。

主な道路の出入交通量をみても、前年を上回っている

なお、年末は特に目立った渋滞はなく、年始は1月2、3日に渋滞が集中して発生した。

高速道路出入交通量 (日平均)

(単位 :千台)

区 分	期 間	H14.12.27 ~ H15.1.5	H15.12.26 ~ H16.1.4	前年比 (%)
	全国高速道路		3,396	3,581
東北自動車道		216	228	105.4
東名高速道路		365	377	103.1
中央自動車道		197	206	104.7
名神高速道路		205	219	106.7
九州自動車道		185	202	109.1

5. 主要旅行業者の主催旅行 (ブランド) の出発旅行客数 (平成15年12月27日 ~ 平成16年1月4日)

旅行業者主要5社が取り扱った出発旅行客数をみると、国内旅行については0.5%減、海外旅行については12.4%減となった。

海外旅行については、新型肺炎 (SARS) の影響からは徐々に回復しているものの、昨年に比べ曜日配列が悪いことやピーク期間以外に出発する旅行客が増加していること等により、前年を下回っている。

	前年比 (%)
国内旅行	99.5
海外旅行	87.6

上記前年比は、ジェイティービー、近畿日本ツーリスト、日本旅行、阪急交通社及び東急観光 (国内旅行のみ)、  
ジャルパック (海外旅行のみ) の国内及び海外の主催旅行の出発旅行客数の速報値について前年と比較したもの。

< 参考 > 今年度と昨年度の曜日配列の比較

	12/26	27	28	29	30	31	1/1	2	3	4	5	6	7	
14 年度	曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	12/26	27	28	29	30	31	1/1	2	3	4	5	6	7	
15 年度	曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水